

出演者プロフィール

井後 和恵 (いご かずえ) [ピアノ]

京都市立芸術大学音楽学部卒業、同大学院音楽研究科修了後ドイツ留学。これまでに椋木裕子、神屋郁代、種田直之、Meyer-Hermann、Martti Rautio各氏に師事。

1993年兵庫県独奏コンクールにて金賞、サンテレビ賞受賞。1996年ドイツエトリンゲン青少年国際ピアノコンクール入選。2001年アメリカ カリフォルニア州ダーナポイントにてデビューリサイタル。日本、ドイツ、アメリカなどで演奏活動を行なう。2005年にはドイツでのリサイタルが新聞SchwetzingenWocheにて高評を得る。2009年京都ベートーヴェン研究所記念

音楽会、2011年シベリウス協会主催シベリウスピアノ全曲演奏会に出演。2007年館野泉氏が芸術監督を務めるフィンランド・オウルンサロ音楽祭、2015年フィンランド・シベリウス生誕150年記念音楽祭招聘。四條畷学園短期大学等で後進の指導にもあたっている。



ウィリアム・プランクル [チェロ]

アメリカ生まれ。12歳からチェロを始める。コロンビア大学在学中に、ニューヨーク・フィルハーモニック主席チェロ奏者 カーター・ブレイ氏に師事。卒業後、ハンガリー国立リスト音楽院で学び、バルトーク弦楽四重奏団チェロ奏者 ラズロ・メズー氏に師事。2001年文部科学省の国費外国人留学生として来日し、京都市立芸術大学にてチェロを上村昇氏に師事。京都大学で日本語を学ぶ。

2003年より京都フィルハーモニー室内合奏団、関西

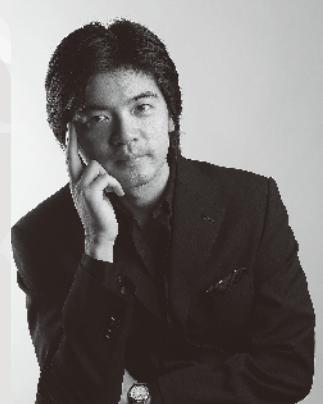
フィルハーモニー管弦楽団でチェロを演奏、京都・国際音楽性フェスティバル、大阪音楽祭にて通訳を手がける。立命館大学等で後進の指導にもあたっている。



与那城 敬 (よなしろ けい) [バリトン]

桐朋学園大学ピアノ専攻卒業。同大学研究科声楽専攻修了。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁研修員として渡伊。「新しい声2005」アジア代表としてドイツ本選出場。第18回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位。マリオ・デル・モナコ国際声楽コンクール第3位。06年宮本亜門演出『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ役で東京二期会デビュー。その後新国立劇場『愛の妙薬』ベルコーレ、『鹿鳴館』影山伯爵、北とぴあ国際音楽祭『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール等で絶賛される。リサイタル

ではドイツ歌曲も多数取り上げ、オーケストラとのライブ録音ではマーラー「大地の歌」「ベートーヴェン「第九」等も高い評価を得ている。桐朋学園大学にて後進の指導にも力を入れている。二期会会員。



©kei Uesugi